



「19会」とは、平成24年3月宮城いきいき学園仙南校の第19期卒業生41人と担任教授の計42人（齋藤抱志会長）で結成した同期会の名称で、会員相互の親睦と、積極的に地域と関わることを活動の中心としています。

「19会」では、結成後初めての地域貢献活動として、7月9日に亘理町のグルー

プホーム「亘理うらきど」でボランティア慰問活動を実施しました。当日は、「19会」メンバー6人が参加し、オープンステージは、柴田町在住の坂本節子さんによるレクダンス。軽やかな音楽に乗せて「イワシの開き」や「亘理よいとこ」を身振り手振りで軽快に披露。

続いて、地元在住の長田まさよさんが哀愁を込めて懐かしい童謡のハルモニカ演奏を行いました。幼い頃に歌った七夕・赤とんぼ・夕やけこやけに、入所者の皆さんが自然に歌い出していたのが印象的でした。

そして手品。バラバラになったトランプが一枚に戻るなど驚きの連続。その後は、後出しジャンケンで会場全体が大盛り上がりし、腹踊りのトランプ（写真）では、踊り手のお腹に触ったり顔を覗き込んだりと大笑い。フィナーレは入所者の皆さんと全員で郷愁を誘う「ふるさと」を大合唱しました。

入所者の皆さんからは「面白かったよ」、「また来てほしい」などと声をかけられ、別れを惜しまれま

高年齢の生きがいと健康づくりの推進に積極的に貢献を！

今回は、宮城いきいき学園仙南校卒業生第19期同期会「19会」の活動を紹介します。

「19会」とは、平成24年3月宮城いきいき学園仙南校の第19期卒業生41人と担任教授の計42人（齋藤抱志会長）で結成した同期会の名称で、会員相互の親睦と、積極的に地域と関わることを活動の中心としています。

「19会」では、結成後初めての地域貢献活動として、7月9日に亘理町のグルー



## 宮城いきいきシニアだより

県内にお住まいの元氣シニアを紹介します！

プホーム「亘理うらきど」でボランティア慰問活動を実施しました。当日は、「19会」メンバー6人が参加し、オープンステージは、柴田町在住の坂本節子さんによるレクダンス。軽やかな音楽に乗せて「イワシの開き」や「亘理よいとこ」を身振り手振りで軽快に披露。

続いて、地元在住の長田まさよさんが哀愁を込めて懐かしい童謡のハルモニカ演奏を行いました。幼い頃に歌った七夕・赤とんぼ・夕やけこやけに、入所者の皆さんが自然に歌い出していたのが印象的でした。

そして手品。バラバラになったトランプが一枚に戻るなど驚きの連続。その後は、後出しジャンケンで会場全体が大盛り上がりし、腹踊りのトランプ（写真）では、踊り手のお腹に触ったり顔を覗き込んだりと大笑い。フィナーレは入所者の皆さんと全員で郷愁を誘う「ふるさと」を大合唱しました。

入所者の皆さんからは「面白かったよ」、「また来てほしい」などと声をかけられ、別れを惜しまれま



▲丸森町社協の事務所の様子。電話や来客などでさまざまな相談が寄せられています。

### 法人後見受任の経緯

丸森町社協が法人後見を受任したのは平成19年。身寄りのない方の後見人について、町が「市町村長申し立て」をしたときに、それまでも日常生活

### 必ず関係者とタッグを組んで

法人後見に関わる業務は、財産管理のほかに、身上監護、福祉サービスの利用申し込みなど多岐にわたります。一人ひとりの生活に関わることで、細かい対応が求められます。「なるべく地域包括支援センターや町の保健師や担当課、地域の民生委員の方々などと一緒に活動するようにしています。また、局内でも一人で抱えず副担当者を配置し、必ず局長が確認する仕組みとされています」と事務局次長で主任福祉活動専門員の渡辺靖子さん。複数の関係機関が支援することで、理解者が増え、緊急時にも動きやすく、大事に至



# 「であらふれあらしむであら」をスローガンに

関係者とネットワークを組みながら住民の生活を支える丸森町社協の取り組み

宮城県の最南端に位置し、福島県境にある丸森町。人口約15,400人のこの町では、社協が重要な社会福祉の資源です。町社協は、地域福祉推進やボランティア関連事業などをはじめとし、幅広い事業を展開しています。今回は丸森町社協が行う法人後見について、お話を伺いました。

自立支援事業（まもりーぶ）やヘルパ

派遣事業などで、生活のさまざまな支援を行っていた社協に「後見人になってほしい」との町からの要請により、社協での実施をスタートしました。

「19会」としては、今後も同期会会員相互の交流と親睦を図ることはもとより、地域貢献活動を通し、高齢者の生きがいと健康づくりの推進に積極的に貢献していきたいと考えているということです。

らず対応できた事例もありました。

何と言っても地域の情報源は民生委員さんから

お話を伺ううちに、住民の個別のニーズを社協が、細かく捉えている様子が伺えました。その理由をお聞きすると、「社協では「何でも相談」を行っているほか、各地区の民生委員が生活相談員として、地元で相談を受け付けています。何と言っても地域の情報は、民生委員児童委員の活動にありますので、とても小さな相談でもその情報をもとに、動くようにしています」と話してくださいました。また昭和62年から民生委員と社協で要援護者台帳を整備しているのも丸森町社協の特徴の一つ。時代が変化しても住民に必要な事業を関係者の協力を得ながら実施しています。

## あなたの声をぜひお聞かせください

～宮城県社協では地域福祉推進計画の策定を進めています～

宮城県社会福祉協議会では、今年度から、今後の地域における福祉活動の進め方を示す地域福祉推進計画の策定を進めています。日頃、福祉について考えていること、ご意見などがありましたら是非お聞かせください。いただいたご意見は、計画づくりの参考とさせていただきます。本会ホームページでもご覧になれます。  
<http://www.miyagi-sfk.net>



問い合わせ先  
宮城県社会福祉協議会  
地域福祉推進係  
TEL 022(266)3950  
FAX 022(266)3953  
Mail g035@miyagi-sfk.net

取材に伺った日も多くの方が「おはようございます」と社協の窓口を訪れ、職員の皆さんとお話をする光景が見られました。何でも相談しやすい社協の姿勢を大切にしつつ、時代や住民のニーズに合わせて、しなやかに変化していく丸森町社協。今後の展開がますます楽しみです。

（宮城県社協 地域福祉課 取材）

人口 15,421人  
（平成24年4月現在）  
社協データ  
職員総数 26人  
（内町派遣職員6人）



生活相談や地区でのふれあいサロン等の地域事業のほかに、ボランティア関連事業、児童館指定管理、保育所業務受託等幅広い事業を展開しています。  
TEL 0224(72)2241  
FAX 0224(73)4151

## 保育所のためのしせつの損害補償

有利な補償と割安な保険料です

<http://www.fukushihoken.co.jp>  
ふくしの保険 検索 保険料試算ができます

### プラン1 保育所業務のための補償

- ①基本補償
- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- ②個人情報漏えい対応補償
- ③保育所の什器・備品損害補償

必要な補償を3つのプランでご用意しました

### プラン2 保育所利用者のための補償

- ②園児の傷害事故補償
- 地域子育て支援拠点事業等参加者傷害事故補償
- ③園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

### プラン3 保育所職員のための補償

- ①保育所の労災上乗せ補償
- ②保育所職員の傷害事故補償
- ③保育所職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約（賠償責任保険）「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記にお願いします。

プラン1-① 加入例	補償額	年額保険料	
対人賠償(1名・1事故)	1億・7億円	園児60人	23,400円
対物賠償(1事故)	1,000万円	園児80人	25,800円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	園児100人	28,800円
うち 現金補償限度額(期間中)	20万円	園児150人	34,800円
人格権侵害(期間中)	1,000万円		
初期対応費用(期間中)	500万円		
見舞費用(期間中)	10万円		

中途加入OK

プラン2-② 加入例	補償額(1口あたり)	年額保険料 1口あたり 530円	
死亡保険金	103万円	園児60人 一口加入	31,800円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の3~100%	園児80人 一口加入	42,400円
入院保険金(1日あたり)	800円	園児100人 一口加入	53,000円
手術保険金	8,000円・16,000円・32,000円	園児150人 一口加入	79,500円
通院保険金(1日あたり)	500円		

社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763